

## 2. 障害者等に対する農作業体験実習等を提供可能な農福連携の取組主体

### (1) 社会福祉法人 白銀会

法人概要			
所在地	茨城県石岡市鹿の子4丁目16-52		
代表者	理事長 長谷川浅美	法人創立年	平成2年
主産品	豆類、なす	耕作面積	4ha
当該法人の特色（現地視察から得た情報等）			
<p>○白銀会の旗艦施設が石岡市の「しろがね苑」であり、周囲に4町歩の畑を借り受けて農業に携わっている。</p> <p>○鉾田市に多機能型事業所「たいよう」を運営している。農作業は農家への施設外就労で、メロンやブルーベリー、トマト、ラッキョウなどを扱っている。</p> <p>○しろがね苑から車で1分の距離に、イタリアンレストランの「トラットリア・アグレステ」を運営している。建材に木材と石材をふんだんに使用したこだわりの空間が広がっている。</p> <p>○特徴的な取組として、企業の障害者雇用の課題解決の仕組みとして、日立建機㈱と白銀会とで農業生産法人を設立し、その運営は白銀会が担っている。日立建機が雇用する障害者を農業生産法人に出向させ業務にあたっている。その障害者は白銀会が供給する。白銀会が運営するグループホームに居住する方もいる。</p>			
			
しろがね苑周辺に広がる畑		ハウス内の作業所	
			
トラットリア・アグレステ		たいようの利用者が働くメロン農家	

(2) 社会福祉法人 ゆずりは会 菜の花

法人概要			
所在地	群馬県前橋市青梨子町668-2		
代表者	施設長 小淵 久徳	開所年	平成26年
主産品	枝豆、玉葱、ブロッコリー	耕作面積	14ha
当該法人の特色（現地視察から得た情報等）			
<p>○高工賃などが評価され、ノウフク・アワード2021で審査員特別賞、2022ではグランプリを受賞。農福連携の世界で、名実ともにトップランナーのひとり。</p> <p>○事業所スタート当初は内職、PC解体、土器清掃などが主な作業であったが、現在は売上の90%が農業。</p> <p>○農産物のうち80%が野菜。主にJAへ出荷。地域農業の中核となっている。</p> <p>○農福連携自然栽培パーティー全国協議会に加盟し、無肥料・無農薬のコメや玉葱などを栽培している。</p> <p>○カシオ計算機株式会社と全国で初めての取組「一反パートナー」を平成29年にスタートさせ、40名の社員と家族が田植え・稲刈りを体験。</p> <p>○農協から譲り受けた機械類でライスセンターを運営し、地域の農家から乾燥調整作業を受託している。</p> <p>○コメ苗の委託販売は苗床約2千枚に達している。</p> <p>○一般就労移行者も輩出している。</p>			
			
菜の花事業所室内		ライスセンター内	

(3) 社会福祉法人 土穂会 ピア宮敷

法人概要			
所在地	千葉県いすみ市岬町岩熊138-10		
代表者	理事長 内野浩二	法人創立年	平成12年
主産品	菜花、切干大根、ごま油	耕作面積	1.5 ha
当該法人の特色（現地視察から得た情報等）			
<p>○ピア宮敷では4千坪の菜花畑を有しており、JAいすみが扱う量の50%を出荷している。収穫は1月中旬から3月中旬。3月以降はパクチー栽培に移る。</p> <p>○菜花栽培農家が減少する中、地域の菜花栽培維持を期待される同法人は、ノウフク・アワード2022フレッシュ賞を受賞した。</p> <p>○菜花の圃場の隣に「循環型酪農」の高秀牧場があり、酪農体験やチーズ・ジェラート等の乳製品を揃える「ミルク工房」も運営している。</p> <p>○菜花栽培は以前高秀牧場が行っていて、4年前ピア宮敷に事業譲渡された。今でも夏場は同じ畑を使って高秀牧場が飼料用トウモロコシを作っている。</p> <p>○冬季の作業として、切干大根の製造を行っている。</p> <p>○讃岐うどん店「どんちゃん」を運営しており、利用者の就労支援の場になっている。</p> <p>○純正ごま油を製造し、いすみ市内の土産店などで販売している。ごま油の作業工程は時間を要し、製造は1日6kg（ビン24本分）。</p>			
			
<p>びあ宮敷第1工房</p>		<p>菜花畑</p>	
			
<p>ごま油搾油室</p>		<p>どんちゃんに飾られている絵</p>	

(4) 埼玉福興 株式会社

法人概要			
所在地	埼玉県熊谷市弥藤吾 2 3 9 7 - 8		
代表者	代表取締役 新井利昌	創立年	平成 8 年
主産品	葱の苗、オリーブ製品	耕作面積	4 ha
当該法人の特色（現地視察から得た情報等）			
<p>○農福一体のソーシャルファームの理念のもと、障害者にとどまらない多様な人々に働く場をつくり、結果として地域農業の中心的な役割を担っていることが評価され、ノウフク・アワード2020優秀賞を受賞。</p> <p>○種・肥料・資材のモリタネ社と提携し、葱・玉葱苗を生産。農家 300 軒、福祉施設 7 法人に出荷している。</p> <p>○特筆すべき取組として、イーピービズ社（医薬品関連業イーピーエス社の特例子会社）に事務所・作業所を賃借し、社員となる障害者も供給（埼玉福興運営のグループホームに居住）。そのうえで農作業を委託するという他に例のないビジネスモデルを展開。</p> <p>○オリーブ畑を持ち、実を搾ったオイルは世界的な賞を受賞している。</p> <p>○多岐にわたる高次元の取組は、すでに多くの分野からスタディツアーを受入れている。埼玉北部という東京からの距離も手伝い、最良のスタディツアー設定候補事業所と言える。</p> <p>○新たな取組として「藍染」に力を入れている。自前の藍を畑で栽培し、工房でストールなどの製品も染めている。</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>オリーブ畑</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>小学校の体験学習に使う田んぼ</p> </div> </div>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>特例子会社の社屋</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>藍染したストール</p> </div> </div>			

(5) NPO法人 支援センターあんしん

法人概要			
所在地	新潟県十日町市高田町3丁目西371		
代表者	会長 樋口功	法人創立年	平成14年
主産品	コメ、さつま芋、エゴマ	耕作面積	3,800 m <sup>2</sup>
当該法人の特色（現地視察から得た情報等）			
<p>○荒廃地を水田に蘇らせ、農薬無散布の「魚沼コシヒカリ」を栽培。</p> <p>○雪国新潟で育つ甘い大根を原料にした切干大根を製造。1袋298円。皮をむいて白色の切干を作っており、全国シェア9割を超える宮崎産より高値で売れる。同じ乾燥機を使ってカップ麺のかやくも作っている。</p> <p>○トイレットペーパー製造で年間約4千万円の売上。主には、国や地方公共団体が率先して障害者就労施設からの物品等の調達を推進するよう定められた障害者優先調達推進法に基づき、近隣の公共施設が購入している。また、内約1千万円がふるさと納税による売上。</p> <p>○宿泊施設「交流館」は、雪国に適した、新潟の農家などで伝統的な「セイガイ造り」の豪邸。信濃川を一望できる展望テラスで頂く朝食は格別と評判。</p> <p>○越後妻有（十日町市、津南町）で開催され、一年を通じてアートを媒介に地域の価値を発信している「大地の芸術祭」。3年に一度開催されコロナ前は50万人超の来場者。常設展示も多数あり、農福体験ツアーに付加する地域の魅力として絶好の素材。</p>			
			
<p>立派な佇まいの「交流館」</p>		<p>テラスからの眺望（雪に隠れているのは田んぼ）</p>	
			
<p>乾燥野菜製造の工房</p>		<p>乾燥野菜を製造する乾燥機</p>	